

PROFESSOR BENJAMIN HORTON

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Director, Earth Observatory of Singapore
- Professor, ASEAN School of the Environment, Nanyang Technological University, Singapore



ベンジャミン・ホートン教授は、シンガポール地球観測所の所長であり、南洋理工大學(NTU)のアジア環境学校の教授です。

NTUに参加する前は、ホートン教授はラトガーズ大学の教授であり、ペンシルベニア大学の准教授でした。Horton教授は、英国のリバプール大学で学士号を取得し、英国のダラム大学で博士号を取得しています。

ホートン教授は、彼のキャリアの中で数々の賞を受賞しています。2019年、彼は卓越した業績によりNTUの地球科学の学長に任命されました。卓越した研究により、彼は欧州地球科学連合からプリニウスメダル、アメリカ地球物理学連合からポイジャー賞、米国地質学会からW.ストーズコール賞を受賞しました。彼は2013年に米国地質学会のフェローに選出され、2018年にアメリカ地球物理学連合のフェローに選出されました。

ホートン教授は、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第5次評価報告書の著者であり、新しい第6次評価報告書のレビュー編集者です。ホートン教授の研究は、2015年1月20日に米国議会議事堂で開催された2015年の一般教書演説でオバマ大統領によって引用されました。

Horton教授は、Science、Nature、Proceedings of the National Academy of Sciences、Geologyなどの著名なジャーナルの28の記事を含む、220を超える記事をピアレビュージャーナルに発表しています。ホートン教授は、博士号を取得した24人の学生と22人のポスドクを監督しているか、監督してきました。そのうち17人は現在恒久的な学術的地位にあります。

ホートン教授の研究は、過去に海面の変化を決定し、将来そのような変化を形作る外部と内部のメカニズムを理解し統合することを目的とした、海面の変化に関するものです。彼の研究は、特に沿岸地域が直面している重要な生態学的、倫理的、社会的、経済的、政治的問題に影響を与えています。

Topics

- Author
- Education
- Environment
- Government